

## 大阪大学中之島センターまでのアクセス

### ★電車によるアクセス

- 京阪中之島線 中之島駅6番出口より 徒歩約5分、渡辺橋駅1番出口より徒歩約5分
- 阪神本線 福島駅より 徒歩約9分
- JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分
- JR環状線 福島駅より 徒歩約12分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅4番出口より 徒歩約10分
- 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅7番または4番出口より 徒歩約16分

### ★バスによるアクセス

- 「JR大阪駅前バスターミナル」  
大阪市バス(53系統)→中之島四丁目(旧玉江橋)下車 徒歩1分  
大阪市バス(75系統)→田蓑橋下車 徒歩1分
- 北港バス(中之島ループバス ふらら)「大阪大学中之島センター前」下車徒歩約1分  
※淀屋橋発(土佐堀通/住友ビル前)



※大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通に面しております。  
10階建ての最上階がガラス張りで見える建物が大阪大学中之島センターです。  
※タクシーでお越しの際は、近隣施設や建物に中之島センタービル等類似した名称の建物がございますので、「大阪市立科学館 北側の『大阪大学中之島センター』」とお伝えください。

## 第31回(平成26年度) 情報通信学会大会開催要領

開催期日	平成26年6月28日(土)・29日(日)
場所	大阪大学 中之島センター (大阪府大阪市北区中之島4-3-53)
プログラム	別記のとおり
参加費	正会員および賛助会員 2,000円 非会員 4,000円 学部学生は会員・非会員を問わず1,000円
懇親会費	4,000円
申込方法	学会ホームページよりお申込みの上、同封の振込用紙にて参加費及び懇親会費を6月23日(月)までにお振込みください。
申込締切	平成26年6月23日(月) *参加票はお送りしませんので、当日直接会場にお越しください。
資料	個人研究発表資料は学会ホームページよりダウンロードして各自お持ちください。
協賛	情報通信月間推進協議会
申込・照会先	公益財団法人 情報通信学会事務局 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11階 TEL 03-5501-0566 FAX 03-5501-0567 E-mail: taikai@jotsugakkai.or.jp http://www.jotsugakkai.or.jp/

## 情報通信学会ニュース

NO.92

平成26年5月25日

### 第31回(平成26年度) 情報通信学会大会・総会開催のご案内

公益財団法人 情報通信学会  
会長 三友仁志

本年度の情報通信学会大会及び総会は、6月28日(土)、29日(日)の2日間、大阪大学を主催校として、大阪市北区の大阪大学中之島センターで開催いたします。開催要領、プログラムは別記のとおりです。なお、本年度の総会は29日(日)に開催します。

シンポジウムでは、「脳科学と情報通信技術の融合が拓く情報通信の未来」と題し、最先端の研究とその応用が拓く情報通信の未来について議論していきます。

この大会は平成26年度情報通信月間参加行事です。

#### シンポジウム「脳科学と情報通信技術の融合が拓く情報通信の未来」

情報通信技術の進展による人々の生活の利便性や生産性の向上は目覚ましく、声に留まらず、文書や映像、機械や物、自然界の現象などの大量の情報やデータを電子化し、高速に通信、処理する利便性のある情報流通が、実現されています。これらにより、情報化・知価社会への移行が進んでいます。

しかしながら、データや情報量がさらに増大した場合には、その情報量に人間の情報処理が対応できるのか、データや情報を伝送・処理するICTシステムのエネルギー消費量に問題は生じないか等の課題が浮上してきます。

こうした中、人の脳に関する研究開発が世界的に進み、脳科学と他の分野の融合領域が急速に広がり、脳科学と情報科学、心理学・認知科学との融合領域の研究開発が立ち上がりつつあります。

これらの研究開発に期待されるものは「人に優しく、持続可能な地球社会の実現に貢献する技術」の実現です。例えば、人工システムより桁違いに低エネルギーで駆動する脳の仕組みを利用した情報処理や制御の開発や、脳から直接意思などを機械や情報端末へ伝達する技術の開発等です。

本シンポジウムでは、生命の複雑制御に学ぶ解決法の究明を目指す脳情報通信融合について、最先端の研究と、その応用が拓く情報通信の未来について、先端的な研究開発についての基調講演と、それに続く、第一線の研究者によるパネル討論を行います。

#### 公益財団法人 情報通信学会 事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1  
日土地ビル11階  
電話 03-5501-0566 FAX 03-5501-0567  
http://www.jotsugakkai.or.jp

## 第31回学会大会プログラム

1日目〔6月28日（土）〕 大阪大学中之島センター 10階

時間	内容
10階 佐治敬三メモリアルホール	
12:30～	受付（10階 佐治敬三メモリアルホールロビー）
13:00～13:15	会長挨拶 三友仁志
	招聘校挨拶 馬場章夫（大阪大学理事・副学長）
13:15～14:15	テーマ：「脳科学と情報通信技術の融合が拓く情報通信の未来」
	基調講演 柳田敏雄（情報通信研究機構／大阪大学 脳情報通信融合センター長）
14:15～14:30	休憩
14:30～16:30	パネルディスカッション パネリスト 柳田敏雄（情報通信研究機構／大阪大学 脳情報通信融合センター長） 柏野牧夫（日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所 上席特別研究員・人間情報研究部 部長） 川鍋一晃（株式会社国際電気通信基礎技術研究所 主任研究員） 萩原一平（株式会社NTTデータ経営研究所 情報未来研究センター長 ニューロイノベーションユニット長） コーディネーター 柏岡秀紀（情報通信研究機構 脳情報通信融合センター長 統括 大阪大学招聘教授）
16:30～16:40	大会実行委員長挨拶 中西 浩（前 大阪大学学際融合教育研究センター特任教授）
17:00～19:00	懇親会（2階 カフェレストラン「スコラ」）

お断り：プログラムは、一部変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2日目〔6月29日（日）〕 大阪大学中之島センター 3階、4階

時間	内容				
9:30～	受付（3階 通路付近）				
	個人研究発表				
	第1会場（講義室302）	第2会場（講義室303）	第3会場（講義室404）	第4会場（講義室301）	第5会場（講義室405）
10:00～11:30	ソーシャルネットワーク上における若者の自己開示と感情表現に関する研究—TwitterとFacebookの内容分析及び大学生へのインタビュー調査から— 村益有那（アビームコンサルティング株） 寶 雪（慶應義塾大学）	自分が自分であることを証明する—韓国と日本の個人識別番号とインターネットガバナンス— 李 ウォンギョン（早稲田大学大学院生） 朴 ドンオ（美インディアナ大学大学院生）	コミュニティ単位での入居とICTの利用が東日本震災における仮設住宅居住者の社会的孤立に与える影響 谷村祐実（早稲田大学大学院生） 吉見憲二（早稲田大学） 樋口清秀（早稲田大学）		ポスターセッション 放送コンテンツの海外展開に関する現状分析—日本と韓国の比較研究— 数永信徳（総務省情報通信政策研究所） Facebook利用と日常生活の関係（大学生と社員の比較） 加藤恭子（（株）ピーコミ） ビッグデータを適切に解析するデータアナリスト育成の基盤としてのコンピテンシー・ディクショナリ編纂の必要性と課題 齋藤長行（青山学院大学） 子どものICT活用能力の取得・向上に関する保護者の意識に関する調査研究 安藤満佐子（総務省情報通信政策研究所） 清水康敬（東京工業大学） 小泉力一（高美学園大学）
	討論者：川崎賢一（駒澤大学）	討論者：遠藤 薫（学習院大学）	討論者：木村幹夫（日本民間放送連盟）		
	ソーシャルメディア上のニュース接触・共有行動の実態と考察 小笠原盛浩（関西大学）	案件不利地域における情報通信基盤の維持に関する考察—ユニバーサルサービス提供のための新たな枠組みの提案— 三友仁志（早稲田大学）	「ケータイのディスプレイを見る行為」の国際比較—Interdependentな自己と非言語コミュニケーション— 中村隆志（新潟大学） Adam Acar（神戸市外国語大学） Mark Ng（香港樹仁大学）		
	討論者：村上圭子（NHK放送文化研究所）	討論者：湧口清隆（相模女子大学）	討論者：岡田朋之（関西大学）		
	コンテンツ海外展開とブランド製品露出に関する研究—アメリカ大作映画を事例に— 大場吾郎（佛教大学）	電子政府評価委員会による行政手続オンライン化の評価に対する再評価 本田正美（東京大学）	らくらくホンの成功と教訓 山田 肇（東洋大学） 遊間和子（国際社会経済研究所）		
	討論者：内山 隆（青山学院大学）	討論者：西澤雅道（内閣府）	討論者：高崎晴夫（KDDI総研）		
	A	B	C		
	司会者：内山 隆（青山学院大学）	司会者：菅谷 実（慶應義塾大学）	司会者：富田英典（関西大学）		
11:30～12:30	昼休み				
12:30～13:15	総会（3階 講義室301）				
13:20～15:20	オンラインショッピングサイトにおけるレコメンドの因果効果とその影響 品川健一（総務省情報通信政策研究所） 黒田敏史（東京経済大学）	情報環境の変遷とプライバシー意識の関係に関する一考察 吉田 達（東京経済大学）	東日本大震災を踏まえた地域コミュニティ及び企業における防災計画—ICTを活用したCDMP（地区防災計画）について— 西澤雅道（内閣府） 筒井智士（内閣府）	研究会報告 モバイルコミュニケーション研究会	
	討論者：宮崎久美子（東京工業大学）	討論者：新保史生（慶應義塾大学）	討論者：三友仁志（早稲田大学）	「モバイルARの可能性とセカンドオフライン」 報告者：富田英典（関西大学）	
	ブロードバンド品質計測に関する考察 実積寿也（九州大学）	インターネットの利用におけるプライバシー懸念の要因に関する実証分析 高口鉄平（静岡大学） 黒田敏史（東京経済大学） 依田高典（京都大学）	若手県釜石市民の情報の受発信及び交流に関する調査報告 齋藤隆一（株KDDI総研） 森口泰行（株KDDI総研） 宮脇景子（株KDDI総研） 橋爪純子（首都大学東京）	「モバイル・メディアの三叉路モデル（M・セール）と、その有効性」 報告者：藤本憲一（武庫川女子大学）	
	討論者：上田昌史（京都産業大学）	討論者：春日教測（甲南大学）	討論者：石井健一（筑波大学）	「初等中等教育におけるスマートフォン利活用の可能性」 報告者：上松恵理子（武蔵野学院大学）	
	クラウドコンピューティングの普及が我が国のマクロ経済に与える影響 小津 敦（総務省情報通信政策研究所） 竹村敏彦（佐賀大学）	米国Eディスカバリーと企業の電子情報管理 瀧澤和子（早稲田大学）	自治体によるソーシャルメディア活用の課題と展望—地域SNSの導入状況の調査から— 谷村 要（大手前大学） 石橋裕基（一財）関西情報センター） 畑耕治郎（大手前大学） 藤田昌弘（大手前大学）	G	
	討論者：篠崎彰彦（九州大学）	討論者：菊池尚人（慶應義塾大学）	討論者：上原伸元（東京国際大学）	司会者：金 暉和（神田外語大学）	
	パーソナル情報をベースとしたパーソナライゼーションサービスにおける消費者選好に関する研究 高崎晴夫（株KDDI総研） 高口鉄平（静岡大学） 実積寿也（九州大学）	サイバー法から情報法へ 林 紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）	地域資源の情報発信とコンテンツツーリズム—大学と近隣自治体との連携— 伊藤昭浩（名古屋学院大学） 山口 翔（名古屋学院大学）		
	討論者：中村彰宏（横浜市立大学）	討論者：佐々木秀智（明治大学）	討論者：福富忠和（専修大学）		
	D	E	F		
	司会者：浅井澄子（明治大学）	司会者：青木淳一（慶應義塾大学）	司会者：岡野直樹（大阪大学）		
15:20～16:50		研究会報告 情報社会システム研究会 「ネット選挙運動からネット投票の実現に向けて—日米韓比較から」 報告者：清原聖子（明治大学） 李 洪千（慶應義塾大学） 討論者：前嶋和弘（上智大学） 小林哲郎（国立情報学研究所）	研究会報告 ビッグデータ研究会 「日本の地上波放送のスマートTV/セカンドスクリーン展開の現状と課題—放送局主導プラットフォームとソーシャル連携を中心に」 報告者：齋藤浩史（毎日放送） 三枝孝臣（日本テレビ） 菅原達也（NHK） コメンテータ：菅谷 実（慶應義塾大学）	研究会報告 情報行動研究会 「ソーシャルメディアを介して異性と交流する女性の心理と特性 —MROC調査・ネット調査から」 報告者：千葉直子（NTTセキュアプラットフォーム研究所） 天野美穂子（東京大学学際情報学府博士課程） 堀川裕介（東京大学学際情報学府博士課程） 討論者：富田英典（関西大学）	
		H	I	J	K
		司会者：小林哲郎（国立情報学研究所）	司会者：脇浜紀子（読売テレビ）	司会者：橋元良明（東京大学）	